

もうちょっと時間がなくなってしまいましたので、ここでおしまいにしますけども、今言ったように二重の防護服、それからもちろん手袋も二重、これが本当にベストですよ。皆さん、職員、部下の命を守ろうと思ったらそのぐらいの配慮をもう一回保健所に要望したほうがいいと思いますよ。本当感染症というのは目に見えないだけであって、本当にどうやって手当てしていいか、どうやって防護していいか、本当に難しい世界なんです。だから、くれぐれも細心の注意、細心の注意でやらないと大変なことになりますから。

以上で私の一般質問を終わります。どうもありがとうございました。

○議長（中村 実君）

以上で、滝川議員の質問が終わりました。

2時5分まで暫時休憩いたします。

〈午後1時57分 休憩〉

〈午後2時05分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、バリアフリーの推進について。

(1) 車椅子やベビーカーの利用者支援について。

- ① 飲食店等事業所のバリアフリー化支援の考えはあるか。
- ② 公共施設のバリアフリーの点検と改善を行う考えはあるか。
- ③ 障害者や妊産婦用の駐車場について、官民で点検する考えはあるか。
- ④ 公共施設等に配備されている車椅子の点検を行う考えはあるか。

(2) 高齢者等買物支援について。

- ① バス停などの待合所の環境整備を行う考えはあるか。
- ② 官民による買物宅配サービスを行う考えはあるか。
- ③ 健康づくりと買物支援を融合させた取組の考えはあるか。

(3) 障害者等の就学支援と卒業後に希望が持てる仕組みについて。

ゼロ歳から18歳までの子ども一貫教育における支援の特色として、どのようなものがあるか。

(4) 障害者等の就労支援がある持続可能なまちの形について。

- ① 就労の機会を増やす取組はどのようなものがあるか。
- ② 岡山県総社市の障害者1,500人雇用プロジェクトのような取組を行う考えはあるか。

2、糸魚川市のまちづくりについて。

(1) SDGs（持続可能な開発目標）に取り組むまちづくりについて。

- ① 誰一人取り残さないという理念のもと、教育、福祉、人権等を中心に各課で具体的な取組を行う計画や考えはあるか。
- ② 市として自然環境を守るための取組や計画や考えはあるか。
- ③ 地域資源を生かす持続可能な仕組みづくりを行う考えはあるか。
- ④ SDGsの活動を楽しく普及するため、17色バッジやのぼり旗、ポスターなど様々なSDGsグッズを生かす考えはあるか。

(2) 行政改革と持続可能なまちづくりについて。

- ① AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、5G（第5世代移動通信システム）の導入で事務効率の向上を目指す考えはあるか。
- ② 内部統制や外部監査を具体的に進める考えはあるか。
- ③ 人口減対策として、税収アップ（稼ぐ手法）を行う考えはあるか。

(3) 子育てするなら糸魚川となるまちづくりについて。

- ① 森の幼稚園や海洋幼稚園など地域資源を生かし、都会にはない特色を持った認定こども園等を構築する考えはあるか。
- ② 子供と高齢者が共存できる空間づくりなどを検討する考えはあるか。

3、安心・安全なまちづくりについて。

(1) 学校等の防犯カメラ設置について。

新年度の具体的な計画はどのように考えているか。

(2) 民間事業所のAED設置状況の把握と設置推進について。

企業の工場や敷地の広い店舗においてAEDの配備とその周知が必要と考えるが、設置の支援や周知の推進についての考えはあるか。

(3) 通学路等の路面整備について。

消雪パイプ（コンクリート部分）とアスファルトのつなぎ目の段差やへこみの解消と凍結防止対策について工夫をする考えはあるか。

(4) 災害時の拠点整備について。

災害時の情報収集にはスマートフォンを活用します。電源確保の観点から市役所や能生・青海両事務所に電気自動車の急速充電スタンドの設置と公用車に電気自動車の拡充を行う考えはあるか。

(5) 高齢者ドライバーへの安全対策推進について。

国が予算化した65歳以上を対象の安全運転サポート車（サポカー）補助金と市独自で行う予定のドライブレコーダーの設置促進事業は画期的なものであるが、その周知と推進についての考えはあるか。

4、女性が輝くまちづくりについて。

(1) 妊娠アシスト事業（産前産後ヘルパー派遣等）について。

- ① 平成20年3月6日の一般質問で、産前産後ヘルパー派遣の創設を求め、その後、公明党の予算要望で産前産後ケアの拡充を市長要望してまいりました。提案から12年目で予算化され、大変喜んでおります。予算化の背景と理由は何か。
- ② 産後鬱対策として、現在どのような取組があるか。
- ③ 不妊症や不育症治療のメンタルサポートはあるか。
- (2) 女性がより一層活躍できる環境づくりについて。
新年度予算の重点施策項目に掲げているが、具体的な取組としてどのような点を考えているのか。
- ① 行政における改善点は何か。
- ② 民間企業や各種産業における改善点は何か。
- ③ 保育園・幼稚園・学校等における改善点は何か。
- ④ 観光や交流人口の拡大における改善点は何か。
- ⑤ 防災や防犯における改善点は何か。

以上で1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、来年度から障害者のための意思疎通用具の購入やスロープ、手すりの整備などに対する助成制度を予定しております。

2つ目につきましては、改善の必要なものは計画的に改修を行ってまいります。

3つ目につきましては、新潟県おもいやり駐車場利用証の周知を進めるとともに、障害者や妊産婦用駐車場の適切な利用について啓発してまいります。

4つ目につきましては、随時点検を実施いたしております。

2点目の1つ目につきましては、乗継ぎ箇所での待合環境の整備について、関係者と協議を進めてまいります。

2つ目につきましては、現在、市内の民間業者の協力のもと、まごころ宅配サービスなどを実施しております。

3つ目につきましては、健康づくりと買物にお出かけパスを利用いただいております。新たな取組についても今後研究してまいります。

3点目につきましては、乳幼児期から義務教育期まで、発達の特性に応じ、通級指導教室や特別支援学級等での指導を通じて、学びの意欲を高め、集団での適応性の向上を図っております。

また、高校へのスムーズな移行やその後の就労に向け、関係者による継続的な協議や丁寧な引継ぎを行うなど、自立と社会参加を目指した途切れのない支援を行っております。

4点目の1つ目につきましては、自立支援協議会で情報共有や障害者の就労支援に取り組んでまいります。

2つ目につきましては、企業への障害者雇用の理解促進を図りながら、自立支援協議会を中心に

一貫した就労支援に努めてまいります。

2番目の1点目につきましては、市の取組が全てSDGsにつながるものと考えており、次期総合計画などに位置づけ、市民への普及啓発にも積極的に取り組んでまいります。

2点目の1つ目につきましては、AIなど新たな技術を積極的に活用し、自動化や省力化を図ることで、より少ない職員で、効率的に事務を進める必要があると考えております。

2つ目につきましては、内部監査の充実とともに、外部機関による業務診断を導入し、ミスの防止や業務の効率化を図ってまいります。

3つ目につきましては、税込確保に加えて、新たな財源の確保に努めてまいります。

3点目につきましては、それぞれの保育園、幼稚園において、糸魚川ならではの自然体験や地域交流等の園外活動など特色ある保育を進めてまいります。

3番目の1点目につきましては、市内の全ての園・小・中学校への設置ができるよう進めてまいります。

2点目につきましては、民間事業所のAED設置状況の全ては把握しておりませんが、AEDの重要性を救命講習会等で引き続き説明してまいります。

3点目につきましては、道路パトロールなどの実施により、引き続き通学路の安全確保に努めてまいります。

4点目につきましては、移動電源車を所有する電力会社等との連携を図ってまいります。

5点目につきましては、関係機関と連携して周知を推進してまいります。

4番目の1点目の1つ目につきましては、妊娠から産後までの切れ目のない支援の1つとして、ヘルパー派遣を事業化するものであります。

2つ目につきましては、妊娠届出時の産後鬱予防のパンフレットを配布し、情報提供をしているほか、新生児訪問の際に産後鬱のチェックシートを活用し、早期発見と支援に努めております。

3つ目につきましては、制度としては治療費の助成ですが、専門職によるメンタル面でのサポートも行っております。

2点目につきましては、女性の社会進出を支えるため、テレワーク推進事業や休日お助け保育事業を拡充しているほか、民間企業の経営者向けセミナーの開催やアドバイザー派遣を行い、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発に努めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

それではお願いいたします。

まず、車椅子やベビーカーの利用者支援についてであります。小さな段差をなくす運動は以前からも展開すべきというふうに言ってまいりました。改善されているそういうお店やそういったバリアフリーに理解のある事業者等を行政としても紹介していくことが必要ではないかと思うんですが、そのような考え方というのはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

来年度からバリアフリー等障害者への合理的配慮を実施していただきました店舗、事業所等につきましては、ステッカーをお作りしまして、合理的配慮優良店ということで、入り口に貼っていただいて、ご協力いただいていることを表示をさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

非常にいい取組かなと思います。

次に、②番の点検と改善のところではありますが、はっきり具体例を示したいと思います。市民会館の中2階といいますか、中間のところに飲食店がございます。市民の方からご指摘を受けましたのは、講演会やイベント等で車椅子で観覧はできて非常に市民会館よくなったんだけども、残念ながら飲食店を利用することがなかなか、階段がございまして、利用しづらいねという声を伺いました。市民会館のリニューアルの時点で気づけばよかったです、私自身も気づいておらなかったんですが、こういったところに車椅子が上下動できるような今機械というかあるんですけども、そういったものが設置できるものなのか、また、考える余地があるのか、その辺教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

糸魚川市民会館では、車椅子を常備して、ホール客席への入場やスロープ形状を設けて段差をなくして、2階以上に行く際にはエレベーターを利用いただくことでバリアフリー対応しておりますが、ご指摘のあります併設しているレストランについては、現在バリアフリーとなっております。施設の構造上対応が可能かどうか建設業者と協議したところでございます。ただ、階段の構造も狭くて、なかなか難しいというふうに業者から回答を得ております。ただ、概算の金額も示されておるんですが、非常に高額であったということで、対応に苦慮しておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

後づけになるといろいろ何かと大変かなと私も思います。事前に気づけばとつくづく思うんですけども、そうはいつでもいろんな技術等も日進月歩でいろいろ進んでいるかと思しますので、もし安価でつけられるようであればぜひ推進していただきたいなというふうに思います。

続きまして、障害者と妊産婦用の駐車場について、官民で点検ということなんですけども、公共施設はもちろんなんですけど、市内のスーパーやドラッグストア等でも障害者用の駐車場が設置され、利用者にとっては大変助かっていると思っております。官民で定期的に施設の点検や利用者の声を伺うという取組を私は検討すべきかなと思っております。

具体的な例といたしまして、糸魚川総合病院に当たります。なぜかといいますのは、正面玄関の東側に比較的数字がたくさん障害者用の駐車場が設置されております。しかし、玄関までの屋根がないんですね。そうなった場合に、雨や雪が降っている場合、患者さんも引率者もぬれてしまうという声を伺っております。車の乗り降りの安全対策としての効果はあるんですが、できれば病院等、特に車椅子で移動されるとき屋根の設置なんかについてもちょっと検討すべきではないかということで、今回提案させていただくんですが、その辺考えいかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、お話を伺って、そういう不自由があるというのを改めて認識をさせていただきました。今のご提言については、糸魚川総合病院にお伝えをするとともに一緒に検討させていただきたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

お金のかかることなので、また、所有者という問題もあるんですけども、バリアフリーという面ではまた行政もしっかり相談対応していただきたいですし、今、たまたま糸魚川総合病院を例に挙げましたけども、やはり買物等についても雨に当たる場合等もあるので、そういったところもできればそういう業者等とも検討していただければなと思いますので、これは要望にさせていただきます。よろしく願いいたします。

次に、市民の懇談の中でのことなんですけども、健常者が障害者用の駐車場を利用するのを見ていて、要は健常者が使っているんじゃないかという声がよく聞かれるんですね。皆さんもご存じのとおり、外見的には健常者に見えても実際いろんな病気だとか、いろんな機器をつけてたりとかあって、そういう部分分かるようにヘルプマークであるとか、障害者であることをアピールしろということではないんですけども、逆に誤解されないような取組ということを周知すべきではないかなと思っております。今回提案するんですけども、そういったステッカーなりキーホルダーなり、何かそういうのもうちちょっと積極的に使ってもらえるような働きかけというのが必要かと思うんですが、その辺いかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

先ほど、市長が答弁いたしました県のおもいやり駐車場制度、こちらの制度は、障害者、高齢者等が障害者の駐車場スペースをご利用いただくための利用証ということでございます。よって、外見的には障害がなくても内部的な疾患があって、障害があるという方につきましては、こういった利用証の交付を受けて、適切に利用されているということで、お示しをいただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次は、4番の車椅子の点検であります。市役所の玄関にも備付けの車椅子がございます。たまに空気圧をこうやって見るんですけども、正直少ないときがございます。私のように体重がある人だとちょっと沈むなという印象を持ちました。こういったものの点検というのは、定期的にされているものなのか、そういうルールづくりというのはどうなっているのか教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

今、市役所ということですが、市役所には正面玄関に1台、南口に1台ございます。定期点検ということで、総務課の担当者が月に1回程度タイヤの空気圧、座面状況、ブレーキの利き等の動作確認を実施しております。今、少し空気圧が少ないというご指摘もありますので、その辺り担当に伝えながらしっかりと対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

車椅子に関しましては、以前も選挙の投票所の関係でも少しご指摘させていただいたんですが、みんなで点検していけばいいのかなというように思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

次、（2）高齢者等の買物支援についてであります。

バス停などの待合所の環境整備ということで、今後、高齢者の免許返納や体調不良から自動車の運転を控える方が増えていくと思います。バスの待合所については、地域、また地区により施設の格差があるというふうに認識しております。待合所のデザインを環境に合わせたオブジェや、今市が取り組んでいる石のまちというプロモーションですかね、そういったものも踏まえて、バス停とそういったまちづくりという部分をタイアップしたようなデザイン化を含めて、待合所の整備というのもちょうと進めていただきたいなと思うんですが、またSDGsもそうですけども、何かそういったものを取りまとめた待合所ということで、なおかつまちをアピールする施設、もっといえばインスタ映えもできるような待合所とか、そういったちょっと複合的にもの考える取組をしていただきたいなと思うんですが、その辺いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

バス停の待合所とかいろんな、やっぱり市内点々といろんな施設ありますよね。そういったところで今シティプロモーションの石のまちのデザインですとかSDGsの部分、そういうものをやっぱり入れていけばいいなというふうに思っておりますし、それによって市民の皆さんもやっぱり気づきがあるというふうに私は思いますので、できる限りそういった、いろんな小さいところでもいいと思うんです。いろんな施設を持っている担当課とちょっと話をしながら、デザインを決めるときにはちょっとワンポイント入れていただけないかなと、そんな取組を働きかけていきたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

これまで地区の要請があれば補助金を少し出して造るとというのが定番だったかと思いますが、やはりまち全体で地域を盛り上げていこうと、また、地域づくりのいろんな計画もあるかと思えます。そういった中に待合所としての整備の拡充もあるんですが、やはり地域をアピールする、そういった待合所にしていくとか、そういう発想もぜひ取り入れていただきたいと思えます。

次に、②官民による買物宅配サービスを行う考えはということで、今もう現にいろいろまごころ宅配を取り組んでおられるということなんですけども、より生活に密着した形で、小集落単位の買物タクシー制度、いわゆる利用される方がミニグループを3人とか4人でつくっていただいて、月計画で買物に行く制度であるとか、何かそういったちょっと具体的な対応をするような制度というのを検討していただきたいと思うんです。その辺いかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

2月だったですかね、復興まちづくり会議の中でも大東市の職員の方が、健康ということ 키워ドにしてあらゆるところにつながりをつくっていくというお話をされたと思えます。私もそのときに話を聞いておりました。やっぱりそういったものがきっかけで、ちょっとしたご近所さんのお付き合いの中で買物を、例えば車に乗せていただけたとか、そういったつながりをつくっていくのが非常に大事なのかなというふうに思っておりますので、地域コミュニティも含めてなんですが、地域づくりを進める中でも、また、福祉、移住者でやっている第2層協議体の助け合いというところもありますので、そういった絡みの中で自主的に住民の皆さんとそういったネットワークができるように、やっぱり行政としてもバックを押していくというのが必要なのかなというふうに思っています。

おります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次の③のところで今の項目お話ししようかなと思って、今、ミニグループができれば、手法として何があるかと考えたときに、例えば温泉と買物、あとはお食事と買物、あとパソコンとかタブレット教室と買物のセットとか、あと施設見学を巡って買物もセットにするとか、最後に健康づくりの体操と買物をタイアップすると。私も同じく、今課長おっしゃったとおり、健康づくりと買物支援の融合というところは、先日駅北まちづくり実践会議で大阪府の大東市職員の逢坂伸子さんの講演を拝聴いたしました。大変面白い、面白いと言ったら失礼ですけど、本当に効果を上げている取組に興味を持ちまして、これも何かの縁かなと思いますので、ぜひ買物という部分と介護予防、もっというと体力づくりという部分でぜひ逢坂さんの監修のもと実際糸魚川で取り組んでみたらどうかと思っておるんですけども、糸魚川市の、私よりも多分職員のほうがその辺り詳しいかと思うんですが、今後そういう逢坂さんを招聘して、計画的にやっていくという考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

確かに、大東市の逢坂さんの話は本当に素晴らしい話だったと思います。全国を取組で、今人口減少社会の取組として、しかも少子高齢化という形で、本当にやっぱりなかなか地域の足が確保できないとか、日常の生活に困るとか、そういう事例というのはこれからどんどん出てくるんだろうというふうに思います。そういったお話を聞く中で、職員への啓発というところもあると思いますし、全国各地の取組を知って気づきを得るというには非常にいい取組かなというふうに思いますので、そこら辺ですね。また職員の研修の部分と協議をしながら、進めながら、話をしながら、ぜひやっぱり人口減少社会への対応の取組としてやっていく必要があるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

今のところはっきりしてないみたい。もし取り入れるのであれば、私は大賛成いたしますので、よろしく願いいたします。

あと、ちょっと話が飛ぶようなんですけども、日本版MaaSというんですかね、モビリティ・アズ・ア・サービスっていう、国交省が取り入れている近代的な交通体系なんですけども、こういったものを糸魚川市も何か研究するとか、取り組みたいとか、そういう考えというのはあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

I C Tを活用いたしまして、あと今の技術を活用しまして、交通に関するいろんなサービスを1つで統合できるような取組ということで、今担当レベルでは、研究ですとか先進事例の取組というものを着目しておりますが、糸魚川市のほうで計画的にいつを目指して、どんなようなレベルでというところの検討状況にまでは至っていないというのが現状でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

こういったI o T関係の話をする、どうしても高齢者がなかなか使いづらいんじゃないかという声が上がってきてるんですが、一方では、今かなりいろんなアプリといいますか、そういったものも進んでおりまして、要は高齢者でも画面を見たときに分かりやすい表示であるとか、本当にその人に合わせた組立てができるというふうにも伺っておるので、余りそこで臆病にならないようにしていただいて、新しいものはどんどん取り入れていただきたいなと思います。これは要望にしておきます。

次、3番の障害者の関係を飛ばして、1回目でもご紹介させていただいたんですが、岡山県の総社市というところは、もともとは、平成23年度から27年度の5年計画で障害者の1,000人雇用というものを取り組んでおります。まず、条例までつくってございまして、実は、平成29年5月に1,000人を達成してると。私すごいなと思うのは、やっぱりしっかり目標を持って、多分全庁を挙げて取り組んだ成果であるというふうに見ております。さらに、29年の5月達成して、その年の9月7日には、今度は1,500人雇用推進条例というものをまた打ち立てて取り組んでいく。何でこんなことを言うのかというと、やっぱりそのまにに住民に寄り添って、持続可能なまちにしていくという部分では、私自身も大学生のとき交通事故に遭って、両足靭帯を亀裂とか、手首骨折とかあって、その事故あったときに思ったんですね、いつも健康であっても、いつどこでどういう事故とか巻き込まれて、障害を持つ体になるかもしれない。そうなったときに、そういうところでも糸魚川市にはこういうバックアップ体制があって、希望すれば働ける場所があるんだみたいなものが築ければ、安心して暮らせると思うんですね。非常にこの総社市のは分かりやすい取組だということを受けまして、ぜひこういったこともちょっと検討してみたいな部分が今回提案してるんですけども、その辺いかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

実は2年前に福祉事務所の職員と当時の商工農林水産課の職員で総社市のほうへ行ってまいりました。いろんな取組についてお話を聞く中で、やはり大きな目標を持って、市長が先頭に立って一

生懸命やっているというお話を聞きました。総社市自体が当初1,000人ぐらいの障害者、就労できる年齢の方がいらっしゃって、その後近隣の倉敷市等からも障害者の受入れをしているというふうに聞いております。

当市におきましては、今、18歳から65歳で障害をお持ちの方が約1,100人おります。ただ、この中で、ハローワークを通じて就職された障害者、あるいは福祉事業所に通所されている方含めると約400人おります。ですので、ハローワークを通じないで直接就労された方もおられると思いますので、そういった方を含めると、当市においても総社市ほどではないと思いますが、かなりの方が就労されていると思います。今後も関係機関と連携を図りながら、障害者の就労について努めてまいりたいと思います。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

もう一つ、今回この提案をした背景がございまして、市民の方の中で高次脳機能障害というんですかね、なかなか自分は真面目にいろいろ取り組んでいるんですけども、周りの方に理解されないケースがあると。県のほうもかなり力入れているんなパンフレットであるとか情報を流しているんですけども、なかなか身近な周囲の方に理解されないという現状がございまして、この1,500人とか、糸魚川市がこういうものに取り組む中でそういった人もやっぱり理解もしていかなくちゃいけないという運動論にもなるかと思ったので、ぜひやっていただきたいなと思ったんですが、特に糸魚川市の高次脳機能障害者についてやっていないというわけじゃないんですが、逆に当事者でない方への周知というか、そういったところにも力入れていただきたいと思うんですが、その辺いかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

やはり健常者の方に障害者のこと、体のこと、あるいはお気持ちのこと、ご理解いただいて、一般の方と同じように就労なり生活ができるような、そういったまちづくりが今後必要だと思います。今後も、広報等で毎月障害者のコラム等を掲載させていただいておりますが、そういったことを通じる中で、障害者の理解を市民のほうから深めていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次の質問項目行くんですが、まさに今の取組もSDGsのいろんな人権であるとか、いろんな障害のそういうところの理解をしていく上で、私はいい入り口になるのかなと思っておりますので、市長の答弁では行政が行っていることは全てSDGsにつながる取組であると、私もそう思ってお

ります。ただ、例えば貧困をなくそうといったらこういうこと、飢餓をゼロにとはこういうこと、質の高い教育をみんなにという項目は、17項目あるんですけども、それにちゃんと分かるような事業であるとか、取組であるとか、あと活動であるとか、頑張っておる方は顕彰してあげるのも非常にこの活動を盛り上げていくのには大事だと思います。

最後にグッズがあるのも、やっぱりSDGsって何だろうというところにちゃんと興味を持ってもらうための当然こういう市長と副市長もバッジつけていただいておりますけど、こういうバッジだとかのぼり旗だとか、場合によってはそういういろんな文房具で周知するのもいいかもしれませんが、ぜひちょっと力を入れて、お互いにそういう分かり合える環境をつくっていただきたいなと思います。ちょっとここはあえて押さえておくだけにします。

次の行革のところ、新年度予算の中にe-市役所というのがあったかと思うんですが、これは今回のAI、IoT、5Gの関連があるのかどうか、その辺だけちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えいたします。

AIなりRPAにつきまして、議会でもいろんな議論を、ご意見等を頂戴している中であります。一昨年度からこれに向けた取組を進めていく中で、ようやくRPAにつきましても幾つかの事業に取り組みるといった状況になっております。そういったものをやっていきたいということで予算化をお願いしているというところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ということは、じゃあこれについても取り組んでいくという認識でよろしいですか。分かりました。

次、②番の内部統制や外部監査を具体的に進めるということなんですが、過去にいろんな一般質問の中で不祥事があったときに質問すると、内部統制が32年度より始まりますという答弁をよくいただいていたものですから、新年度からはきちんとそういったものが、体制をつくられたのか、ただ、任意なんですね。都道府県と政令指定都市だったかな、そういうところは義務化されているんですが、多分糸魚川市みたいなのは任意かなと思うんですけども、糸魚川市としてずっと取り組まれると言っていたものですから、その辺の準備とか計画とかあれば教えていただきたいと思いません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

ご指摘のとおり、取組につきましては努力義務ということではありますが、これまでの答弁の中で

は、国の実施方針と他市の動向を見ながら当市に合った内部統制の整備を進めてまいりますということで答弁をさせていただいておりますが、令和2年現在見ますと、導入自治体が余り多くないという状況で、この検証ができていないということでもあります。ただ、そうはいつでも、ずっとご指摘をされておったわけでありますので、先ほどの市長答弁にもありますように、内部監査の充実、これは具体的に言いますと、今年度でいいますと、内部監査員におきまして、当市にある製造業、一部上場企業であります、それは実際どうやっていっているか。また、市内にある金融機関は実際にどうやってやっているかといったものを研究させていただくとともに、近隣自治体にも見させていただいております。その中で、来年度は外部診断を導入しながらやっていきたいと。ただ、いざれにしましても、それが今後の内部統制につながるように、順序を追って、段階を踏みながら、これまでも保坂議員がおっしゃるような方向の中で進めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

その中の個別事項になるかと思うんですが、いわゆる行政の公益通報という部分について、特化して、要は、通告者の保護という部分での徹底とか、何かその辺特段取り組むとか、そういう考え方ありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

公益通報につきましては、今制度はあるんですけども、実際にはやられている方がいないということなので、職員への周知の仕方、それから、情報がきちんと守られる、保護されるといったことを伝えながら、どうやって公益通報の制度が実際きちんと運用されていくか、いろいろと試行錯誤しながら取り組んでまいりたいというように思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひその辺の身分を保証してあげないと公益通報自体が機能しませんので、ぜひ手厚いというか、きちんとしてあげてほしいなと思います。

続きまして、3番の安心・安全のまちづくりに行きます。

さっき回答聞き漏らしてしまったんですけど、学校等の防犯カメラの設置について、新年度予算に計上されて、計画はということで、設置台数であるとか設置場所の選定の仕方であるとか、あと防犯カメラの管理体制、録画の管理ですね、そういったもの、あと新年度で全ての学校全部完結するのか、それとも年次計画的につけていくのか、その辺ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

来年度予算要求をさせていただいております。市内の小・中学校及び幼稚園、保育園、公立、市立、私立、かかわらず防犯カメラを最低1台は設置したいというふうに考えて今予算要求をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ということは、大きな学校であるとか施設であるとかという場合には、必要であれば正門、裏門じゃないですけども、2台設置も検討の余地があるというふうな認識でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

予算の中身になりますのであれなんですけども、今現段階では、各小・中学校も含めて1台というようなことで考えております。設置の状況といたしますか、考える中で、まだつけなければいけないという状況になってくれば、また検討していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

では次に行きます。

民間事業所のAEDの設置状況であります。糸魚川市はホームページでも市が公共施設に設置してあるAEDについてはマッピングというんですかね、落とし込みができてすぐぱっと分かるんですけども、生活している方は別に行政の施設だけを見ているわけじゃなくて、一般のお店であるとか事業所であるとか、そういったところとタイアップしたeマップというんですかね、落とし込めるようなことをやってほしいなと思うんですが、それは可能でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

丸山消防長。〔消防長 丸山幸三君登壇〕

○消防長（丸山幸三君）

お答えします。

市のホームページのeマップについては、今おっしゃったような公共事業所を中心なんですけども、日本救急医療財団のホームページでは、販売したときに登録をすれば、そしてホームページで公開することを了解すれば、そちらのホームページでは民間事業所のAEDのある場所も地図に表

示されるというものになっております。ですから、これから事業所等、消防の立入検査等で伺ったときに有無をお聞かせいただいて、それからこういった公表もよろしいでしょうかというようなことでご了解いただければ、市のホームページでも載せるようなことも可能だと思いますので、いざというときに活用させていただくということも協力も含めてお願いしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

大分AEDについては普及がされてきて、どこにでもあるようなイメージはあるんですけども、市として一時期のああいうキャンペーンというか、普及をしてきたんですが、一応それはもう充足したというふうに見てよろしいですかね。新しい新規事業のところにAEDの設置をお願いしますとか、そういう働きかけというのはしないのか、その辺教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

丸山消防長。〔消防長 丸山幸三君登壇〕

○消防長（丸山幸三君）

市といたしましては、遠隔地のAEDも整備しておりますので、一応の整備は終わったというふうには思っておりますけども、新たに整備するような公共的施設については、ぜひAEDを設置してもらいたいというふうに思います。今後も当然大きな事業所ですとか工場にあっては従業員、それから利用者の安全も含めてAEDを設置していただきたいということは、我々のほうからも状況把握すればお願いすることも考えていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私、今回何でこのAEDをまた改めて上げたかというのは、今回糸魚川市の消防本部で廣川晴海副士長さんですか、新潟県消防職員意見発表会で最優秀賞ですかね、取られたということで、内容が、救急車が到着するまでに30分以上かかる地域で発生した救急患者を救うための救命協力員の創設という提案で、具体的な中身存じ上げていなくて申し訳ないんですが、そうなったときに、ここで改めてAEDの設置であるとか、いろんな採石場であるとか、いろんなところでもこういう協力員を育成していくため、市長まだやると言ったわけじゃないのであれなんですけど、やる前提で話してるんですが、あえてまたそういうAEDの重要性が高まっていくのではないか。また、取扱いで、今いろんなネット情報見ていると、女性に対しても服を脱がさないでもできるっていうような内容のことが出ていたり、ここに来てまたいろんな情報が出てきますし、あと相手に合わせた器具というのでも出てきますので、もう一遍AEDについての正しい認識とか協力員をもし事業化されるのであれば、救命協力員というものをぜひ進めていただきたいなという思いから、今回あえてAEDを取り上げたんですけども、そういう前向きなAEDの取組、改めてやっていくという考えはございますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

丸山消防長。〔消防長 丸山幸三君登壇〕

○消防長（丸山幸三君）

お答えします。

まず、119番通報がありますと、心肺停止状態の通報があります。そうしましたときに通信員はマップから、身近にAEDがあればそのAEDを使ってもらいたいと、あるいは、実は例もあるんですけども、AEDのある、それはちょっと公共的な施設だったんですが、そこへ通信のほうから連絡を入れてAEDを届けてもらいたいという取組をしたこともあります。そういったことで、まずは119番に電話していただければ、その近くにあるAEDを使うという取組を今もやっておりますし、これからもやっていきたいと思えます。

それから、先ほどお話のありました県の意見発表会での提案、それについてはぜひとも実現の方向に向けて、なかなか地理的な問題、隊員がどこにいるかという問題もありますので、簡単にはいかないと思いますが、研究して、少しでも早く心肺蘇生措置が行えるよう取り組んでいきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひ改めてよろしくお願ひいたします。

次に、通学路等の路面整備であります。

今回具体的に消雪パイプとアスファルトのつなぎ目どこだという話なんですけど、これはバス停の上刈の玉水から糸魚川中学校へ上がる路線と明星へ向かっていく道のところは、特にちょっと私の中では、軽に乗っているというのもあるんでしょうけども、へこみとか段差がきついなという印象を持ちました。昔から見てるんですけど、コンクリートの部分とアスファルトのつなぎ目というのはどうしても塊でぽこっと抜けたような状況が見られるんですけど、技術的にこれはもう無理なのか、転圧の仕方であらじやないとなかなかそこまでしっかりと締められないのか、技術的に無理だと言われるとそれまでなんですけど、大分年数があって技術が上がっているかな、資材も変わってきているのかなということであえて今回取り上げてみたんですけど、その辺いかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

やはり消雪パイプは消耗品、ある程度老朽化というものも大分進んでおまして、老朽化しますとどうしてもつなぎ目あたりから漏水が起きる、漏水が起きると周りが緩んで、消雪パイプとアスファルトの境目のところで沈下がしてしまうというところで、そういうところに関しては、計画的にちゃんと更新を進めていく、見つけ次第ちゃんと修繕を行うというのは、市長の答弁のとおり第一

義なんです、最近いつも更新等をする場合に工場製品の種類、プレキャストでも品物になっている消雪パイプというのがあります。それを使うケースが多くなってまいりました。そういうことを使用することによりまして、形状も地面の下で少し広がっているような台形のような形になっていたり、スピーディーな、普通に現場打ちで造るよりは短期間で埋設することもできますので、そういう意味でも緩みの防止ですとか、そういう工場製品の利用というものを進めては行きたいんですが、何せコスト的にも高いということで、交通量ですとか、その辺のバランスも見て、なるべく積極的に使うようにはしております。そういうできるような工夫というのはとっておる状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

コストと技術的な部分で現状になっているのは分かりました。

次に、（４）の災害時の拠点整備のところ、いつかは電気自動車の購入であるとか、いろいろ急速充電機とかいろいろあったんですが、これは市としては、市役所とか能生事務所とか、また新たな場所に設置していくという考えは今のところないのでしょうか。計画的にもっと進めていく考えでいるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

急速充電スポットにつきましては、新たな整備というものは、今現時点では考えておりませんが、ご指摘のスマホの充電ということになりますと、現在1台電気自動車がございます。これに変換器をつけることによってスマホへの供給ができます。電気自動車ですと大体4,500ワットぐらい、スマホの消費電力は10ワットということで、計算上で行くと450台ぐらいつなげれるということなんです、変換器が以外とお高い値段があります。そうした中で、ハイブリッド車で供給できないかという技術も今開発されつつあり、具体的にいうと変換器もそう高い値段かからないということでもありますので、市役所としてできる範囲の中で、今どうやってスマホに供給できるかということを検討し、できたら市役所として整備をしていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

従来であれば発電機を持って行ってとかいろんなやり方はあるんでしょうけども、やっぱり災害時で、あと場合によっては女性が重たいものを運ぶとかできない場合、電気自動車というのは、そのままえば電気を供給できるというメリットもありますので、そういった意味で今回あえて提案させていただきました。

次に、ドライブレコーダーについても、予算に関わってくることなんですが、非常に大変喜んでおりました、ただこのドライブレコーダーについてちょっと心配なのが、世帯的な、家族で5台持っていたら5台つけていいものなのか、何かそういう区分けの仕方がちょっと見えなかったものから、その辺だけちょっとこの場でご紹介していただくと皆さんに通達できるものですから、ぜひドライブレコーダーの受付の今段階での計画というものがご紹介いただければ助かるんですが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

ドライブレコーダーに関しましては、議員おっしゃいますように、今回の議会に予算を提出させていただいておりますので、簡単にご紹介にさせていただきたいと思いますが、車1台を対象としたもので今考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ということは、あくまで個人という対応でよろしいんですね。1家で、家族たくさん車あるから限定とかじゃなくて、申請があればどなたでも予算の範囲内で受け付けられるということでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

失礼いたしました。分かりづらい回答で、車を対象としておりますので、1家で3台の申請があれば3台可能というふうになっております。

失礼いたしました。あくまでも個人単位になっておりますので、法人での申込みにつきましては受け付けられないことというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次に、4番目の女性の輝くまちづくりであります。

産前産後ヘルパーの派遣事業につきましても今回新年度予算で盛っていただきましたが、具体的に今回、私としては、産後ケア法というんですけれども、昨年11月の臨時国会で議員立法で成立したということを受けて今回出てきているのかな。それとも、もしくは糸魚川でいろんな事例があって、今回産前産後に力を入れていこうという話になったのか、また、子育て世代包括センターです

か、日本版ネウボラなんていう取組から今回上がってきたのか、ちょっとその辺の背景を詳しく教えていただければと思うんですが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

産前産後のヘルパー派遣につきましては、議員おっしゃるとおり、子育て世代包括支援という考え方が全国的に広まってきた。それで、こども課にもこども支援室というものを本年度から設けまして対応しているところであります。

それともう一つは、助産師が新生児訪問等で生まれた母子のところへ訪問に行った際に、やはり少しそういったお手伝いいただける方がいればというような声が少しずつ上がり始めてきたということもあわせて、今回予算を計上したところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

今日の新潟日報の社説に、産後鬱防止ということで取り上げていただいて、本当にタイムリーな社説をいただいたんですけども、全国では産後鬱による乳幼児の虐待に発展する事例が多いと。糸魚川で起きているというわけではないんですが、ただ、育児ノイローゼになったりとか、核家族化が進んで、ご主人が仕事行って誰にも相談できない環境であるとか、非常に見えにくくなっているという環境があるというふうに伺っております。そういった意味で、何でしょうね、気軽にこういう産前産後のヘルパーさんをお願いできると非常に助かるというふうにも聞いておりますので、ぜひそのニーズに応えるような形でやっていただきたいんですが、これはあれですか、予算の算出方法というのは非常に難しいのかなと思ってまして、当面は何人ぐらい配置させるとか、その辺の考えありましたら教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

算出根拠については、予算額は30万ほどの少額だというふうに思っています。1年間生まれるお子さんに単価を掛けて、200人ちょっとですので、算出して、そのところは、額は少額ですが使いやすい制度にして、もしご要望が多ければ、当然年度途中でも補正をお願いするというようなつもりで今検討しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

すごく根本的なことなんですけども、産前産後ヘルパーというものがどういうものかというのが意外に理解されないと思うので、もしその辺をこの場で紹介していただくと非常に周知力があるんですけども、ぜひ教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

今、現段階で考えておりますのは、妊娠中または産後1年以内で体調不良であったり育児を行うことが困難であるというような方に、例えば、家事、調理、あるいは洗濯、掃除等、そういったことができないという方に関しましてヘルパーを派遣するというような制度でございます。詳細な制度につきましては、今検討中のところもありますので、概略説明をさせていただきました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

お隣、上越市では、もう12年ぐらい前から実施されているので、そういったところもまた参考にさせていただいて、市民のニーズに応える形でぜひ進めていただきたいと思います。予算はしっかり賛成いたしますのでよろしく願いいたします。

次に、女性がより活躍できる環境づくりであります。

項目で5項目ぐらい上げたんですが、特段、今回新年度で女性のキャリアアップであるとか、いろんな女性が多く働く場所の環境整備に何か特化して支援をしていくとか、あと男性の感覚ではなくて、女性の考えもいろんな場面で取り入れていくとかという、そういうのが知りたかったんですが、5種類上げた中で具体的な何か取組というのはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

新年度におきまして、本市においては、予算は取ってないんですが、国の制度を利用いたしまして女性活躍推進法に関するセミナーの開催ですとか、ワーク・ライフ・バランスの取組の関係ですとか、あと女性の活躍認定制度、えるぼしという制度があるんですが、これに係るアドバイザーの派遣を要請しまして、女性の活躍について推進していく予定にしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ほかの担当課では、何か今年女性の活躍に配慮した取組をすとかありませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

あと、当課のほうでは、例えば移住定住の推進で、やっぱり市内で結構女性の、よそから来た方で活躍されている人がいらっしゃいますので、そういった方にちょっと登場していただいた情報の発信、ウェブサイトを使った情報の発信とか、そういう活躍をぜひ広めていきながら、ほかにも糸魚川へぜひという方呼び込むような、そんな取組を考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

こども課所管では、当初予算レベルでは拡充になりますが、昨年9月議会に補正でお願いをしました、今答弁にもございました、休日お助け保育事業というものを実施しております。幼児教育の無償化に伴いまして、休日お助け保育事業の無償化が国の対象外となってしまいましたので、市単独で無償化とするような取組を昨年10月から実施しているということで、当初レベルでは拡充というような状況であります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

本年度、当課では、男女共同参画に関わる講演会を12月7日に実施しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

やっぱり予算の中で、女性が輝くまちづくりとうたわれているものですから、非常に期待が大きいかと思います。今、予算額云々ではなくて、いろんな取組の中で多分されていくんだらうと思いますので、ぜひ女性にスポットを当てていただきたいなと思いますし、また、女性が特に困っていることということについても耳を傾ける努力をぜひしていただきたいことをお願いして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（中村 実君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。〔15番 田中立一君登壇〕

○15番（田中立一君）